

令和 7 年度 園経営計画 足立区立東綾瀬保育園

園長 鈴木 幸

1 園の経営目標

- (1) 一人一人の子どもの人権や主体性を最大限尊重し、養護と教育を一体的に提供する。
 (2) 子どもたちの健やかな成長のために、自らの保育を振り返り学び合う保育者を育成する。
 (3) 保護者と地域に寄り添い、地域の子育てを支える拠点としての役割を果たす。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは園庭や室内、共有スペースなどで、一人でまたは友達と一緒に考えたり工夫したりしながら、主体的に遊びを展開している。
 (2) 保育者は、試行錯誤を重ねながら、応答的関わりと対話的関わりを繰り返すことで、子どもたちの豊かな遊びと体験を保障すると共に、園全体の保育の質の向上を目指している。
 (3) 毎日、活動の記録を発信することにより、園の保育への保護者の理解が深まり、肯定的、協力的に受け止めてもらえるようになっている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んで いきたい事項－1	一人一人の子どもの興味や関心に合わせた豊かな遊びや体験ができる環境を整え、健全な心身の発達を促します。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもの興味、関心に合わせて遊びの環境を考えたり工夫したりする。	ア 子ども言葉や身体的発信に応答的に関わり、個々の興味や関心を探り、助言や提案を行うことで遊びの意欲を高める。 イ 教材・玩具の選定や安全な保育環境について定期的に話し合い、実践と検証を積み重ねていく。
(2) 一人一人の子どもの発達や個性に合わせ、安全な保育を実施する。	ア 主体的に遊ぶ子どもの姿をよく観察することにより、一人一人の発達や行動の特性を理解し、適宜環境の再構成を行うなど、子どもに合わせた安全な保育を実践する。
重点的に取り組んで いきたい事項－2	保育者が互いに専門性を高めながら支え合い、子どもの心情や発達に応じた保育をチームで展開します。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子ども一人一人の多様な育ちを尊重し、柔軟な保育をチームで展開する。	ア 保育者同士が、自らの保育を省察し、試行錯誤することにより様々な角度から子どもの思いや願いを捉え、一人一人の発達や心情に応じた保育を園全体で行っていく。
(2) 主体的に課題に取り組み、保育を実践研究する職員集団を育成する。	ア 個々の職員が、専門性の向上や危機管理等、自己の課題を探り解決へ向けて取り組む。 イ 事例の省察や研究を重ね、互いに切磋琢磨し合って専門性を高めようとする職員関係を築く。
重点的に取り組んで いきたい事項－3	保護者や地域に保育内容を積極的に発信し、地域全体の子育てを応援します。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 地域に保育資源を積極的に提地域の子育てに貢献する。	ア 園庭開放や保育体験の実施、施設貸出、人材派遣などの地域の要請に応え、園の保育資源を提供する。
(2) ICTを活用し、即時性の高い発信を行っていく。	ア 日々の保育内容だけでなく保育を取り巻く社会情勢など、保護者に関係する情報は積極的に発信する。 イ 配信した内容を日々の保護者との会話の題材とし、発信が一方通行にならないようにする。